

<真剣味>②⑧

2015.6.5

5月のチーム内MVP決定！

チームではその月の練習や試合を通して特に頑張った人や活躍した人などを表彰しています。先月は公式戦・練習試合合わせて9試合。チームは3勝6敗でした。どん底です。その中で、投手として、打者としてはランナーを返す役として、また守備の中心として頑張ってくれたN君に決定しました。ホームランを打ったとかゲッツーを決める安定した守備ばかりでなく、チームのことを真剣に考え、そしていつも前向きな声を出していた。それがとても心に残っています。6月もさらにレベルアップして、夏季大会でもプレッシャーの中、実力を発揮してもらいたい。

引き出しの多さ！

いつも選手に話しているのは中学生の試合はミスがある。ただそれがひとつで終われば流れも変わらないのかもしれないが、ひとつのミスに次のミスが重なると展開が非常に悪くなる。そして勝利の女神にも見放される。我がチームは外野のエラーやランナーがいての捕手のパスボールがあると得点につながる確率が高い。当たり前と言えば当たり前である。その結果敗戦につながることが多い。それがなければ接戦したり勝利にも繋がっている。だから対応が大切になる。守備でミスした後の対応、打者が打てない時の対応、投手がストライクを投げられなくなった時の対応、走者の盗塁に対しての対応など。技術に関する対応の引き出しや心の対応の引き出しなど、大・小ささまざまな分野の対応の引き出しがどれだけあり、どれだけ引き出せるかがプレーでは大事になってくる。

だから練習での蓄積、個人的な学習による蓄積、そして他からの学びの蓄積を大切に生活してもらいたい。

これからは夏季大会（6／20から）に向けて、チーム一丸となり「特徴のあるチーム」作りに努力し、ステップアップしたチームになり、一つでも多く自分達らしい試合が出来ればと思います。

徹底したい！

- 1歩目のスタート
- ミスをした人は下を向かず、自分から元気を出す。
- 全力疾走
- 振り切る（インサイドアウト）

伸びている。（NGM杯より）

- 外野手でもあるT君、自分のスピードを生かし、バント・セーフティバント・左中間へのバッティングで躍動していた。
- 外野手のS君、初回のライナーキャッチから流れに乗り、バッティングでも思い切りの良いスイングでヒットを重ねた。
- 内野手のS君、打順変更から久しぶりにいい汗をかき、プレーしていた。